SCHAEFFLER

プレスリリース

シェフラーの 2035 年気候目標、SBTi が承認

- SBTi が、Schaeffler AG の 2035 年温室効果ガス排出削減目標を承認
- スコープ 1 およびスコープ 2 の温室効果ガス排出量（絶対値）を、2035 年までに 42%削減（基準年：2025 年度）
- 同期間にスコープ 3 の温室効果ガス絶対排出量を 30%削減
- シェフラーはパリ協定を支持し、2050 年までのネットゼロ達成を目指す

2026 年 10 月 28 日 | Herzogenaurach / Yokohama
科学的根拠に基づく気候変動目標の設定を推進する国際的なイニシアティブである SBTi（Science Based Targets initiative）は、Schaeffler AG が提出した温室効果ガス排出削減目標が、短期目標（Near-Term Targets）として SBTi 基準および推奨事項に適合していることを確認しました。

2035 年までに温室効果ガスの絶対排出量を削減
シェフラーグループは、ヴィテスコ・テクノロジーズとの合併に伴い、サステナビリティ戦略をさらに発展させました。合併前から従来の戦略に基づいて大幅な排出量削減を達成してきたことを踏まえ、シェフラーは、合併後初の完全連結年度となる 2025 年を基準年として、2035 年までにスコープ 1 およびスコープ 2 の温室効果ガス絶対排出量を 42%削減する目標を設定しました。また、購入した製品・サービス、資本財、燃料・エネルギー関連活動、上流の輸送・配送、事業活動に伴う廃棄物、および出張に由来するスコープ 3 の温室効果ガス絶対排出量についても、同期間に 30%削減する目標も設定しています。

Schaeffler AG CEO の Klaus Rosenfeld は次のように述べています。「SBTi による当社の気候目標の承認は、シェフラーにとって気候中立の実現に向けた重要なマイルストーンです。これは、当社の気候目標が科学的根拠に基づき、透明性を備え、企業としての責任に沿ったものであることを示しています。しかし、目標を設定するだけでは排出量は削減できません。本当の取り組みはこれからです。バリューチェーン全体にわたり、サステナビリティの視点を一貫して行動に反映していくことで、さらなる前進が可能になります。ヴィテスコとの合併に伴い、当社は 2025 年を新たな基準年として設定しました。私たちは長期的な視点を持ち、企業価値観を指針として行動しています。私たちにとってサステナビリティは責務

であると同時に機会でもあります。サステナビリティを意思決定に体系的に組み込み、戦略に定着させていくことによってのみ、収益性の高い成長の基盤を築き、長期的な競争力を確保することができるのです。」

パリ協定への支持

シェフラーグループはパリ協定を支持しており、SBTi から短期目標（Near-Term Targets）として承認を受けた 2 つの気候目標に加え、2050 年までのネットゼロ達成を目指す目標（SBTi 未承認）を設定しています。シェフラーは、2025 年を基準年として 2050 年までにスコープ 1、2 および 3 の排出量を 90%削減するとともに、適用されるネットゼロ要件に従って残余排出量を相殺することを目指しています。その枠組みとなるのが、サステナビリティ戦略の改定に伴い 2026 年に策定された「気候移行計画（Climate Transition Plan）」です。

科学的根拠に基づく気候目標（Science-Based Targets）とは、企業が SBTi または SBTi Services に提出する目標を指します。これらの目標は正式な審査プロセスを経て、提出時点で有効な SBTi の基準への適合性が確認されます。

SBTi は、企業がパリ協定の「1.5℃目標」に整合した科学的根拠に基づく気候目標を設定できるよう支援する国際的なイニシアティブです。温室効果ガス排出量削減に向けた基準、手法およびガイドラインを策定するとともに、企業が提出した気候目標の妥当性を検証しています。

SBTi による承認情報は、SBTi 公式ウェブサイト（SBTi website）で公開されています。

年次報告書へのリンク：「サステナビリティ・ステートメント」（40 ページ）
Earnings releases | Schaeffler Group.



SBTi は、企業が 2050 年までにネットゼロを達成できるよう、温室効果ガス排出量削減目標の設定に関する基準、ツール、およびガイドラインを策定しています。

画像：SBTi

注）本プレスリリースは現地時間 2026 年 10 月 28 日付でドイツ・ヘルツォーゲンアウラッハにおいて英語で発行されたものの日本語訳です。原文の英文と日本語訳の間で解釈に相違が生じた場合には英文が優先します。

****

シェフラーグループ – We pioneer motion

シェフラーグループは、80 年以上にわたりモーションテクノロジーの分野で画期的な発明と開発を推進してきました。電動モビリティや CO_2削減効率の高い駆動システム、シャシーソリューション、そして再生可能エネルギーのための革新的なテクノロジー、製品、サービスにより、シェフラーグループは、モーションの効率性、インテリジェンス、持続可能性を高めるための、ライフサイクル全体にわたる信頼できるパートナーです。シェフラーは、モビリティエコシステムにおける包括的な製品とサービスの範囲を、ベアリングソリューションやあらゆる種類のリニアガイダンスシステムから修理および監視サービスに至るまで、8 つの製品ファミリーに分けて示しています。シェフラーは、約 11 万人の従業員と 55 か国に約 250 以上の拠点を持つ、世界最大級の同族会社でありドイツで最も革新的な企業の一つです。